

オーストラリアの義肢装具士における作業関連性筋骨格系障害

Work-related musculoskeletal injuries in Prosthetists and Orthotists in Australia.

【著者】 Anderson S, Stuckey R, Oakman J

【雑誌情報】 Int J Occup Saf Ergon. 2018 Oct 8:1-6. 【PubMed PMID】 29893181

【概要】

この研究の目的は、オーストラリアで働く義肢装具士における職業性筋骨格系障害の有病率を決定すること、職業関連リスクと作業関連性筋骨格系障害との関係を調べることである。2012年に、オーストラリアの義肢装具士を対象に、職場の身体的および心理社会的リスク、仕事の満足度、ワークライフバランス、および筋骨格系の不快感に関する項目について、自己申告調査を実施した（N = 139、回答率 56%）。作業関連性筋骨格系障害の予測因子は、ロジスティック回帰分析にて解析した。作業関連性筋骨格系障害の有病率は 80%であり、性別（ $\beta = 1.31$ 、 $p = 0.03$ ）、1週間の勤務時間（ $\beta = 0.9$ 、 $p < 0.01$ ）、身体的（ $\beta = 1.91$ 、 $p < 0.01$ ）、心理社会的（ $\beta = 1.28$ 、 $p < 0.01$ ）リスクが、作業関連性筋骨格系障害と関連していた。女性は、すべての身体領域で男性よりも高いレベルの作業関連性筋骨格系障害を報告した。

義肢装具士の作業関連性筋骨格系障害の有病率が高かったことは、義肢装具士の職場での傷害予防に焦点を当てる必要があること、作業環境をさらに調査する必要があることを示唆している。

【解説】

これまで勤労者における作業関連性筋骨格系障害は、多数報告されており、その対策は労働衛生の3管理の側面から様々な対策が行われている。特に重量物を取り扱うような企業においては、以前より対策が施行されており、理学療法士の関与も増加している。しかしながら、病院・施設などの保健衛生業における職種に対する作業関連性筋骨格系障害（腰痛など）の対策は十分とは言えないのが現状である。理学療法士・作業療法士¹⁾、看護師・看護助手²⁾、介護職^{3,4)}における作業関連性筋骨格系障害（腰痛など）に関する報告はみられるものの、その他の医療職に関する作業関連性筋骨格系障害に対する報告は、必ずしも多いとは言えない。したがって、この論文で紹介されている義肢装具士を対象とした報告は貴重なものといえる。我が国の義肢装具士も、本論文に掲載されているような勤務状況と思われ、多くは義肢装具製作所で義肢装具を製作し、採型や適合判定は病院・施設を訪問しての勤務がほとんどである。よって、義肢装具士の作業状況を目の当たりにすることは少ないことが予想され、理学療法士による助言・指導は重要であることが予想される。昨今は、患者や対象者の障害の重症化・重複化、高齢化により身体介助を必要とする医療職も多くなってきていると思われる。また業務の多様化による心身への負荷等が増加していることも予想され、チームを組んでいる身近な職種の作業関連性筋骨格系障害の状況を把握し、対応していくことも理学療法士の重要な役割であることが報告されている⁵⁾。

【引用・参考文献】

1) Kotejshyer R, Punnett L, Dybel G, Buchholz B: Claim Costs, Musculoskeletal Health, and Work Exposure in Physical Therapists, Occupational Therapists, Physical Therapist Assistants, and Occupational Therapist Assistants: A Comparison Among Long-Term Care Jobs. Phys Ther. 2019; 99(2): 183-193.

- 2) Bernal D, Campos-Serna J, Tobias A, Vargas-Prada S, Benavides FG, Serraa C: Work-related psychosocial risk factors and musculoskeletal disorder in hospital nursed and nursing aides: a systematic review and meta-analysis. *Int J Nurs Stud.* 2015; 52(2): 635-648.
- 3) Takahashi M, Iwakiri K, Sotoyama M, Hirata M, Hisanaga N: Musculoskeletal pain and night-shift naps in nursing home care workers. *Occup Med.* 2009; 59(3): 197-200.
- 4) Luime JJ, Kuiper JI, Koes BW, Verhaar JA, Miedema HS, Burdorf A: Work-related risk factors for the incidence and recurrence of shoulder and neck complaints among nursing-home and elderly-care workers. *Scand J Work Environ Health.* 2004; 30(4): 279-286.
- 5) Prall J, Ross M: The management of work-related musculoskeletal injuries in an occupational health setting: the role of the physical therapist. *J Exerc Rehabil* 2019;15(2): 193-199.

【研究会内プロジェクト執筆担当者】

岡山医療専門職大学健康科学部理学療法学科 明日 徹